

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：防災費 目：防災総務費

事業名 市町村連携強化事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

危機管理部 防災課 地域支援係 電話番号：058-272-1111 (内2841)

E-mail：c11115@pref.gifu.lg.jp

1 事業費

925 千円

(前年度予算額：

680 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	680	0	0	0	0	0	0	0	680
要求額	925	0	0	0	0	0	0	0	925
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

近年、全国各地で集中豪雨、台風、土砂災害、大雪等による甚大な被害が発生している。令和2年7月、令和3年8月にも、岐阜県内で広範囲に豪雨被害が発生した。

災害が発生した際には、その都度、自治体の防災・危機管理体制がクローズアップされている。特に、住民の生活に最も関係のある市町村においては、住民への早めの避難の呼びかけ、的確な避難勧告等、住民一人ひとりが避難行動をとる判断ができる知識と情報を提供するとともに、住民の生命、身体及び財産を災害から守る重大な役割を担っている。

県としては、市町村が迅速・的確に避難勧告等を発令できるよう、必要に応じた情報提供などの支援及び助言、緊密な連携が不可欠である。また、災害ごとに発生する課題の検証、その解決に向けた議論等も重要である。災害時のみならず、平常時から、意見交換などの情報共有、防災職員のスキルアップ研修など、県と市町村で連携強化を図る必要がある。

(2) 事業内容

○市町村防災アドバイザーチーム

・市町村の実情に即したきめ細かな助言・支援を行うため、個別訪問などにより市町村の取組を支援

○市町村防災担当者研修

・市町村の防災担当者を対象に災害への対応に必要な知識を習得する研修を実施

○トップフォーラム

・住民への避難勧告等、災害時に陣頭指揮を執る市町村長を対象とした「トップフォーラム」を開催

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	410	講師報償費
旅費	307	講師旅費
需用費	55	会議消耗品、飲食代
使用料及び賃借料	153	会場使用料
合計	925	

決定額の考え方

--

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

大規模災害に備えるとともに、迅速な災害対応を図るため、県と市町村との間で災害対策に関する連携を強化するとともに、課題解決に向けた市町村職員研修などの支援及び助言を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標	
					(R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

市町村の防災体制の強化を図るため、市町村からの要請等に即した適宜・タイムリーな支援が事業内容であるため、指標の設定にはなじまない。

（これまでの取組内容と成果）

令和3 年度	<p>防災担当者等を対象とした研修、会議等を実施した 成果として市町村防災担当者のスキルアップ、県と市町村との情報交換など、市町村の防災・危機管理体制の強化に繋げることができた。 また、令和3年8月の大雨災害の検証結果を踏まえ、市町村に対し、防災・危機管理体制に繋がる助言を実施することができた。</p>
令和4 年度	<p>防災担当者等を対象とした研修、会議等を実施した 成果として市町村防災担当者のスキルアップ、県と市町村との情報交換など、市町村の防災・危機管理体制の強化に繋げることができた。</p>
令和5 年度	<p>防災担当者等を対象とした研修、会議等を実施した 成果として市町村防災担当者のスキルアップ、県と市町村との情報交換など、市町村の防災・危機管理体制の強化に繋げることができた。</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>大規模な災害発生に備えた強固な防災体制づくり、頻発する豪雨災害等の的確な対応、県と市町村との災害対策に係る連携強化をするための手段として、市町村防災担当者への研修会、会議等の実施は必要性が高い。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	<p>県被害情報集約システム研修などの実施により、災害時における情報収集の確立性や迅速性が高まり、遅滞のない災害対応に繋げることができた。</p>
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 2	<p>年度当初及び出水期を前にした市町村防災担当者への定期的な研修会のほか、新制度の導入、その年に発生した災害状況に応じた説明会なども随時実施するなど、適切なタイミングでの実施に努めている。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 大規模な地震災害や、予期せぬ局地的豪雨、大規模土砂災害が頻発しており、防災に係る事項は多岐に渡るため、市町村防災担当者連絡会議を定期的開催するなど、更なる災害対応能力の向上を図る。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 市町村の防災体制の強化を図るため、市町村からの要請等に即した適宜・タイムリーな支援が事業内容であるため、今後も継続すべき事業である。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	